

「循環のまち・京都プラン」の推進項目一覧

3つの基本方針	9つの基本施策	41の推進項目	5つの重点戦略					
			1	2	3	4	5	
			推進京都	事業ごみの減量対策	エコ化の推進	イベント等の仕組みづくり	多様な資源ごみの回収	バイオオマスの利活用
1 「そもそもごみを出さない」 ～しまつの心を大切に京都流のエコスタイルな暮らしによるごみ減量の推進～								
1-(1) すぐにごみになるものを「買わない・つくらない」								
①	ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐにごみになるものを買わない、財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及・拡大		○					
②	「NO!レジ袋宣言」による市民、事業者と連携した本格的なレジ袋削減の取組の全市展開		○					
③	京都サンガFCやNPO等の市民団体、大学、企業などと連携したマイボトル・マイ箸等の持参運動の全市展開		○		○			
④	家庭から出るごみの更なる削減に向けた有料指定袋の最大容量 45 リットル袋の廃止の検討							
⑤	レジ袋削減協定のコンビニエンスストアやドラッグストアなどへの対象業種の拡大、参加事業者の拡大による大幅なレジ袋の削減		○					
⑥	「ごみになるものをつくらない・売らない」エコビジネスモデルの普及・促進		○					
⑦	業種別の包装材の削減方法や削減率を定めたガイドラインの作成と徹底した指導		○					
⑧	生産、流通、販売の各段階における包装材の一定量の削減を義務付ける条例の検討		○					
1-(2) 事業所などから出るごみを減らす								
①	大規模小売店舗の出店計画時におけるごみ処理方法や資源化方法等の計画書提出の義務化		○	○				
②	チェーンストア等多量にごみを排出する事業所への減量指導範囲の拡大			○				
③	業者収集ごみの透明袋製の導入			○				
④	分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底			○				
⑤	クリーンセンターにおける搬入監視の強化と分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施			○				
⑥	有料指定袋制度など事業者が排出するごみの量に応じて処理料金を負担し、減量努力が反映される仕組みづくり			○				
⑦	ごみの減量や再資源化を促す処理手数料の見直し			○				
⑧	ごみ減量等に取り組む優良事業所の表彰			○				
1-(3) 分かりやすい情報提供と環境学習機会の拡大								
①	ごみの減量方法を分かりやすく掲載した総合環境情報誌の作成・全戸配布							
②	地域ごとのごみの排出状況等の地域特性に応じた指導・啓発の推進							
③	子どもたちを指導する立場の先生や地域のリーダー等への理解の促進による指導者から子どもたちへ知識を伝える環境学習の展開							
④	業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進			○				
⑤	大学、企業と連携した調査・研究と海外研修生の受け入れなど技術提携の推進							
2 「ごみは資源、可能な限りリサイクル」 ～地域の特性を活かしたごみを資源に変えるリサイクルの推進～								
2-(1) 徹底した分別によるリサイクルの推進								
①	使用済みてんぷら油などの回収拠点拡大やコミュニティ回収の品目拡大など既存の資源回収の更なる充実					○		
②	蛍光管や在宅医療廃棄物などの家庭から出る有害・危険物の回収					○		
③	排出時における不適ごみへのシール貼付による指導啓発の徹底							
④	分別できていないマンションに対する分別義務の徹底と未分別ごみの受入拒否							
⑤	業者収集ごみの透明袋製の導入 (11 再掲)							
⑥	オフィス町内会などの小規模事業所が連携した効率的な資源回収の促進			○				
⑦	業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進 (20 再掲)							
⑧	分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底 (12 再掲)							
⑨	クリーンセンターにおける搬入監視の強化と分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施 (13 再掲)							
⑩	現行の容器包装リサイクル法の対象外となるプラスチック製品の再生利用に向けた新制度の創設 (国への提言)							
⑪	拡大生産者責任をより重視した経費負担の枠組づくり (国への提言)							
2-(2) 地域力を活かした地域密着型の取組の推進								
①	土・日も開設する「より近い・より便利な」常設の回収場所の設置・拡大					○		
②	公共施設や民間商業施設における小型家電や携帯電話回収によるレアメタル等のリサイクルの推進					○		
③	地域ごとのごみの排出状況等の地域特性に応じた指導・啓発の推進 (18 再掲)							
④	周辺地域における農家と連携した生ごみの堆肥化による地産地消のモデル地域の構築						○	
⑤	学校や公園の落ち葉、家庭からの生ごみなど地域単位での堆肥化の促進						○	
2-(3) 「学生のみならず、観光のみならず」ならではの取組の推進								
①	学園祭や地域のイベント等のエコ化を推進することにより、次代を担う若者を中心とした更なる環境意識の向上を図るイベントグリーン要綱の策定				○			
②	観光地に設置しているごみ容器への外国語やピクトグラム (絵文字) の標記				○			
③	宿泊施設等と連携した宿泊者に対する分別指導の推進				○			
3 「ごみは安全に処理して最大限活用」 ～ごみの安心・安全な適正処理とエネルギー回収の最大化による温室効果ガスの削減～								
3-(1) ごみからのエネルギー回収の最大化								
①	南部クリーンセンター第2工場建替え時におけるバイオガス化施設の併設							○
②	市内に存在するバイオマス資源 (間伐材、剪定枝、下水汚泥など) の総合的な利活用計画の策定とバイオガス化施設の社会実証の検討							○
3-(2) 環境負荷を低減するごみの適正処理								
①	現行の4工場体制のクリーンセンターを3工場とするなど、経済性に配慮した長寿命化計画による施設の整備・運営							
②	蛍光管や在宅医療廃棄物などの家庭から出る有害・危険物の回収 (23 再掲)							
③	ごみの焼却灰に含まれる金属の回収及びレアメタルの含有調査							
3-(3) 市民の安心・安全とまちの美化の推進								
①	「京都市災害廃棄物処理計画」や対応マニュアルの点検・見直し							
②	地域住民や警察等の関係機関との連携による不法投棄対策とまちの美化の推進							

